



# 高濃度放射能漏れ

# 30<sup>キ</sup>圏内「屋内退避」 身体に影響も

## 福島第1原発

経済産業省原子力安全・保安院は15日、東京電力福島第1原発2号機で午前6時15分ごろ、原子炉格納容器の圧力抑制プールという設備付近で爆発音があり、プールが損傷したようだと発表した。枝野幸男官房長官は

福島第1原発4号機で水素爆発が起き、出火したとの見方を示した。外部へ広範囲に放射性物質が漏れたとみられる。菅直人首相は記者会見し「放射能濃度がかなり高くなっている」として、同原発から半径20<sup>キ</sup>以内

の住民への避難指示に加える。長官は「身体に影響を及ぼす可能性の数値に屋内退避を指示。政府と東電が一体となつて対処するため、統合対策本部を立ち上げた。枝野幸男官房長官は、午前10時22分に、第1原発3号機付近で毎時40<sup>リ</sup>の放射線量を観測したと明らかにした。1時間一般人の年間被ばく線量限度の400倍に

格納容器の放射性物質閉じ込め機能が損なわれた。2号機の原子炉建屋も、隣接する3号機で14日に起きた水素爆発で損傷しており、閉じ込め機能が次々と失われ、外部への拡散が懸念される深刻な状況となった。

東電は「放射線量が急激に上がる可能性がある」として、炉心への注水作業などに必要な人以外を一時的に退避させた。茨城県東海村の東京大学の研究施設で15日朝、1時間当たり5<sup>リ</sup>の放射線量が検出され、法に基

づき国に通報した。北からの風が吹いており、福島第1原発事故の影響とみられる。東電は今後、燃料の大半が溶けるメルトダウン（全炉心溶融）について「燃料の損傷がある。起きる可能性は否定できない」とした。保安院によると、爆発音の後、プール内の圧力が通常の3気圧から1気圧に下がり、損傷があると判断した。核燃料が入っている原子炉圧力容器に海水を注入する作業は続けており、燃料が全露出していた状態から回復。燃料の下から1・2<sup>リ</sup>まで水に漬かる高さになった。



記者会見で福島第1原発4号機の火災を発表し、20<sup>キ</sup>から30<sup>キ</sup>圏内の屋内退避を呼び掛ける菅首相。15日午前、首相官邸

